

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ：次回発信日は6月22日週報(予定)

発行：一般社団法人Jミルク生産流通グループ

「家庭内需要は前年を下回って推移～夏本番に向けた消費増進の後押しを～」

- ・6/5週の牛乳類の販売個数は、前週(5/29週)と比較して牛乳がわずかに増加した分、全体としても微増となった。6/5週は比較的ぐずついた天候であったものの、5/29週は全国各地で記録的な大雨に見舞われており、天候がやや落ち着いたことが一因と考えられる。また、前年との減少率は縮小しているが、前年同週は例年よりも気温が低く、降水量が多かったため、その反動が影響した可能性があり、引き続き今後の動向を注視する必要がある。
- ・ヨーグルト類の販売個数は、全ての品目で微増となり、前年との減少率は縮小した。はっ酵乳全体としては依然として前年を下回っている。
- ・バターの販売個数は、前週よりも減少したが、前年との減少率は縮小した。
- ・4月のインバウンド数(全体)はコロナ禍前(2019年度)の67%までの回復し、新型コロナの5類への移行等による人流の増加により、業務用需要は引き続き底堅く推移している。ただ、全体の1/4のシェアを占めた中国からの訪日客はコロナ禍前の15%に留まっている。中国政府による日本への団体旅行が解禁となれば、徐々に訪日客は回復すると考えられ、更なる需要の増加に期待がかかる。
- ・一方で、前述の通り牛乳類、はっ酵乳等の家庭内需要は依然として前年を下回っている。生乳取引価格の引き上げや包材、燃料費等の高騰に伴う製品価格の改定や内容量の変更を8月に控えるなか、牛乳類を中心に一層消費が落ち込む可能性は高い。梅雨明ければ、夏本番が訪れ気温が上昇し、例年需要は増加していくため、消費の後押しを図るため需要喚起に向けた各種取り組みが重要となる。牛乳月間である6月は半月残っている。牛乳乳製品の消費機運を高めるために業界内外で一体となった消費拡大対策が求められる。

「参考」消費拡大運動 JミルクHPリンク先

- 「土日ミルク」 <https://www.j-milk.jp/news/satsunmilk.html>
- 「20,040のチカラ」 <https://www.j-milk.jp/news/Power20040.html>
- 「牛乳でスマイルプロジェクト」 <https://www.j-milk.jp/news/h4ogb40000009qzb.html>

「2023年度・春も「土日ミルク」啓発ツールを無償提供します！」
 (6/30まで提供期間延長!) ※6月は「牛乳の日・牛乳月間」

【牛乳類の販売速報(推定値)：インテージSRI+】

(1)直近動向(表①参照)

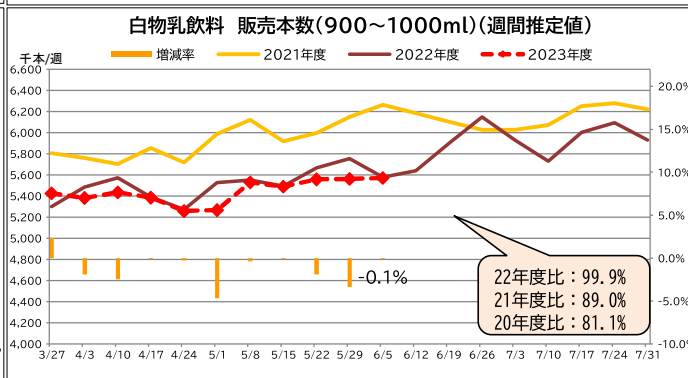
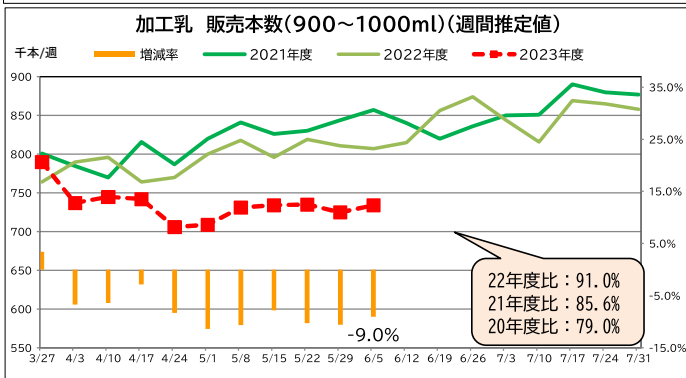
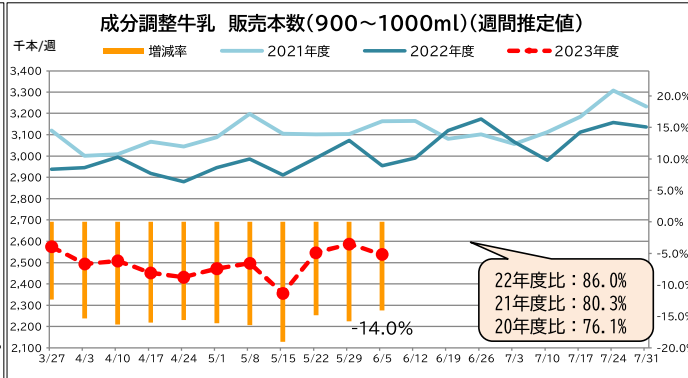
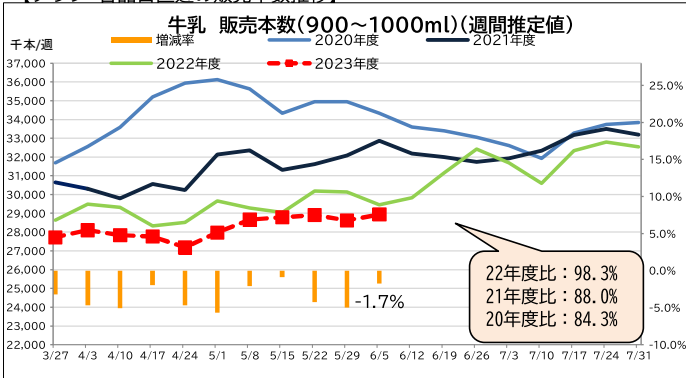
- ・直近(6/5週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳：同98.3%、成分調整牛乳：同86.0%、加工乳：同90.9%、乳飲料：同99.9%。
 牛乳類トータルでは同97.4%
- ※参考：2019年度比(コロナ禍以前)の牛乳販売個数は92.4%。
- ・販売単価は、牛乳：207.0円、成分調整牛乳：192.7円、加工乳：211.0円、乳飲料：164.1円。
- ※出典 ㈱インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位：千個、円)

品目	区分	4.17-	4.24-	5.1-	5.8-	5.15-	5.22-	5.29-	6.5-	23.6.5- 22.10.24 価格差	23.6.5- 23.3.20 価格差
		販売個数	販売個数前年比	販売単価	販売個数	販売個数前年比	販売単価	販売個数	販売個数前年比		
トータル	販売個数	36,349	35,581	36,429	37,424	37,658	37,755	37,499	37,781	16.5	1.6
	販売個数前年比	97.2	95.0	93.6	96.9	98.5	95.2	94.3	97.4		
	販売単価	199.8	199.9	200.0	199.8	199.7	200.0	199.8	199.8		
牛乳	販売個数	27,769	27,184	27,980	28,666	28,791	28,914	28,624	28,938	16.7	0.4
	販売個数前年比	98.0	95.3	94.3	97.9	99.1	95.8	95.0	98.3		
	販売単価	207.3	207.4	207.3	207.1	207.0	207.2	207.1	207.0		
成分調整牛乳	販売個数	2,452	2,431	2,472	2,497	2,529	2,547	2,587	2,539	18.8	4.0
	販売個数前年比	84.0	84.4	83.9	83.6	86.9	85.2	84.2	86.0		
	販売単価	193.0	192.7	191.9	192.6	193.0	193.1	192.0	192.7		
加工乳	販売個数	742	706	709	731	749	735	725	734	20.1	9.7
	販売個数前年比	97.2	91.7	88.6	89.3	94.1	89.7	89.4	90.9		
	販売単価	207.3	207.1	209.4	210.4	208.8	210.8	211.4	211.0		
乳飲料	販売個数	5,386	5,259	5,268	5,530	5,589	5,558	5,562	5,571	14.2	4.4
	販売個数前年比	99.9	99.7	95.3	99.6	101.7	98.1	96.7	99.9		
	販売単価	163.3	163.3	163.4	164.0	164.0	164.1	164.0	164.1		

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(6/5週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比90%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)販売個数について、前週(5/29週)よりも全ての品目で微増し、減少率は縮小した。はっ酵乳全体としては引き続き前年を下回っている。

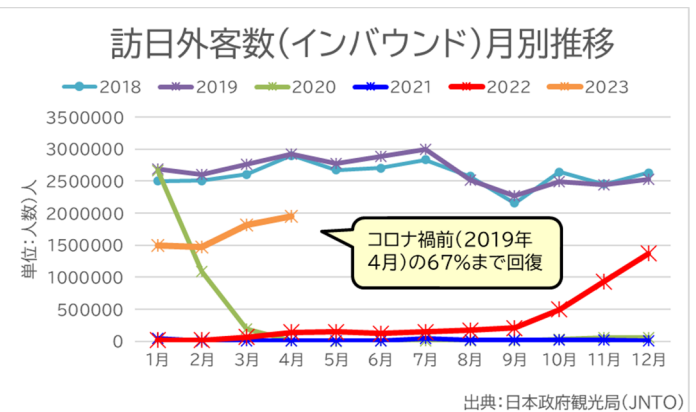
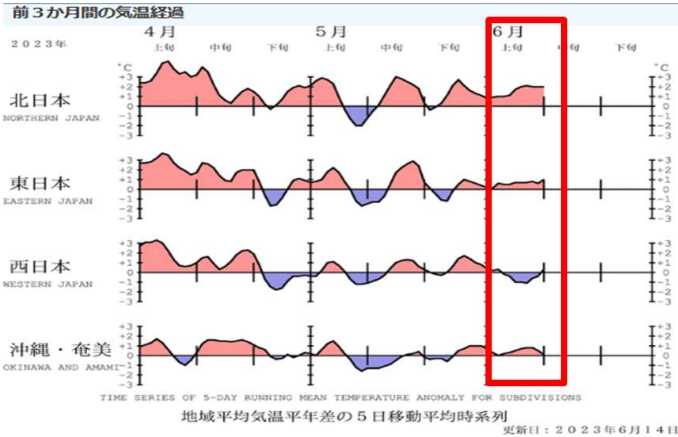
【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	4.17-	4.24-	5.1-	5.8-	5.15-	5.22-	5.29-	6.5-
ドリンクタイプ	↗	↗	➡	➡	➡	↘	↘	↘
個食タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘
大容量タイプ	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘	↘

- ↘ : 前年比90%未満
- ↗ : 前年比105%以上110%未満
- ↘ : 前年比90%以上100%未満
- ↗ : 前年比110%以上120%未満
- ➡ : 前年比100%以上105%未満
- ↗ : 前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。

※6/5週の気温経過 出典:気象庁



※「2023年度生乳需要基盤確保事業 独立行政法人農畜産業振興機構 後援」